



新製品・サービス

ビッグレバー型追加

産業、通信 医療機器に 抜去操作性を向上

本多通信工業 小型高速伝送コネクタ



小型高速伝送コネクタ「TAKシリーズ」

本多通信工業は、小型高速伝送コネクタ「TAKシリーズ」の新製品「ビッグレバー型」を追加...

「TAKシリーズ」は、同社自研の「ベアコン」搭載の「ベアコン」搭載の「ベアコン」...

IBSジャパン ファンレス組み込みコンピュータ コンパクト ロボットアーム AMRアプリ



速度を早ボトする、最新のNVMe SSD搭載のGen4x4 M.2 NVMe SSDを搭載...



養電商事 ペストコントロール支援クラウドAI 有害生物の発生監視

養電商事は、AIと環境センサーの協力で、食品工場や店舗等に侵入した有害生物の発生を監視...



横河電機 クラウド型アセット監視 プラント設備 保守を効率化

横河電機は、プラントに設置された設備や装置などのアセットから運用データを収集し、適切な形で集約...

マクニカ モーター特化型予知保全 1台でデータ収集・診断

マクニカは、低圧三相モーター向けに特化したセンサ・クラウド一体型予知保全のDXソリューション「マクニカスマートモーターセンサ」...

アスピル オンライン異常予兆検知 KM バイオロジクスに納入

アスピルは、KMバイオロジクスに納入したオンライン異常予兆検知システム「BIG EYES」...

令和の 販売員心得 黒川 想介

営業は、一つの基本的活動である。一つは扱った商品を売るセリング活動である。もう一つはマーケティング活動である。

マーケティング能力の向上が 訪問対面の営業スキル高める



NKE 超小型アシストスーツ 空気力で体幹固定、8月発売

NKEは、空気力で体幹を固定して腰の負担を和らげる超小型アシストスーツ「AirSado」...

WashiON 共立継器株式会社. 電気接触は、WashiON 共立継器におまかせください。商品ラインナップを強化し、お客様のニーズに応えます。お客様の「希望納期」にて対応します!!

ARC Advisory Group Annual ARC Industry Forum Asia 2022. Accelerating Industrial Digital Transformation and Sustainability 「デジタル変革と持続可能性を加速」



【定点観測】F A・自動化業界市況データ

当月初の1500億円突破 内需や半導体関連がけん引

22年5月 工作機械受注

Table with 3 columns: 工作機械受注 (金額(円)), 2022年5月(確報), 前年同月比. Rows include 一般機械, 自動車, 電気・精密, etc.

日本工作機械工業会は、2022年5月の工作機械の受注状況(確報)を発表し、受注総額は1533億3400万円...

前年同月比92%増 482億円

半導体業界 設備投資勢い保つ

日本工作機械輸入協会によると、2022年4月の工作機械の輸入金額は482億3190万円、前年同月比92.7%増と約2倍となった。

Table with 4 columns: 2022年4月 工作機械種類, 台数(台), 金額(円), 前年同月比. Rows include 旋盤, ウェイタイブユニット, etc.

15社中14社 増収増益 22年度も好調継続へ

15社を対象に収益状況の調査結果をまとめた。21年度通期の業績は、対象企業15社のうち14社が増収増益、残り1社は減収増益...

モチベーションが下がり立ち止まっているように見える若手技術者

COVID-19の影響もあって、将来を期待されて入社した新入技術者。今年入社した技術者たちも、秋ごろになると生活が大体つかめ始める一方で、仕事に対するモチベーションが下がり始める時期でもあります。

モチベーションの下がっている若手技術者の心理や行動の例を示します。矢印の右側に示したのは、その背景にある要因です。

製造業・世界と戦う担い手づくり エキスパート 待望

マネジメントの多くは、建前上は即戦力と言いつつも、入社数年以内の若手技術者に対して期待することは、「社内のネットワーク構築や社内基本業務の習得」が主となる場合が多いです。

若手技術者には、ある程度の経験は必要である。という自分の立ち位置を理解しないままに理想ばかりを追い求める、理想と現実のギャップが大きすぎる、という失望に近い感情を持つようになる。

打ち合わせはアピールの好機

若手技術者たちはどのようにしてこの状況を乗り越えたいのか、という思いを抱えている。打ち合わせはアピールの好機。

具体的には若手技術者が打ち合わせやミーティングで存在価値を高めるために意識してほしいこと。1. 打ち合わせの終了時間。2. 打ち合わせの目的と決定事項。3. 打ち合わせ議事録の作成。それぞれを述べます。

若手技術者が打ち合わせやミーティングで存在価値を高めるためには、具体的な打ち合わせの目的と決定事項を明確にし、議事録を作成し、打ち合わせの終了時間やミーティングの目的を明確にする。また、打ち合わせの目的と決定事項を明確にし、議事録を作成し、打ち合わせの終了時間やミーティングの目的を明確にする。

若手技術者たちがどのようにしてこの状況を乗り越えたいのか、という思いを抱えている。打ち合わせはアピールの好機。具体的には若手技術者が打ち合わせやミーティングで存在価値を高めるために意識してほしいこと。

お客様の「困った」から製品が生まれます



COSEL MMC8 シリーズ 相当品



COSEL ZUS/ZUW シリーズ 相当品



鹿児島工場 わたしたちにお任せください

POWERED www.powered.jp

COSEL 商品登録 1000 点以上オリジナル製品も販売中! 在庫品は即日出荷可能



日昭無線株式会社 Nisshe Musen Co., Ltd.

お問い合わせ: 企画開発課 TEL: 03-3255-6693 東京都千代田区外神田 2-13-1

www.nmk.co.jp



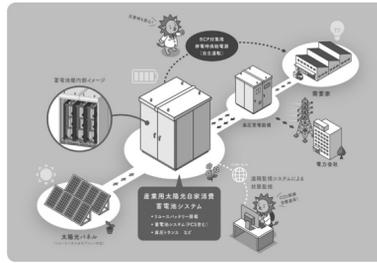
# 「JECA FAIR2022」製品コンクール 受賞製品決定

## 脱炭素、省エネ、作業安全・効率化、EV関連製品・技術に注目

JECA FAIR 2022 製品コンクール 受賞製品一覧

賞状種別	社名	製品名
国土交通大臣賞	日東工業株式会社	産業用太陽光自家消費蓄電池システム サファLink-ONE
経済産業大臣賞	株式会社関電工	測定記録支援システム「BLUe」
環境大臣賞	河村電器産業株式会社	スマートenコントロールシステム
中小企業庁長官賞	共立電気計器株式会社	EV普通充電設備向けマルチファンクションテスタ「KEW 6514BT」
消防庁長官賞	該当製品なし	
独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所所長賞	長谷川電機工業株式会社	HA型アースフック「キュービクル万能タイプ」
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 理事長賞	三和電気計器株式会社	接近センサ (6.6kV 架空配電線用) SN301
一般財団法人関東電気保安協会理事長賞	株式会社戸上電機製作所	AIによる微地絡・地絡原因特定システム
一般社団法人日本電設工業協会会長賞	東芝インフラシステムズ株式会社	TEVセンサを用いたスイッチギヤ絶縁診断サービス
一般社団法人日本電設工業協会奨励賞	株式会社日立産機システム	環境調和型変圧器 Superアモルファス(かなで)
	株式会社土井製作所	開口部浸水対策工法
	北陸電気工事株式会社	まるごとARメジャーアプリ
	マルチ計測器株式会社	ツイストクランプメーター TCM-45E
	三菱電機株式会社	省エネ支援アプリケーションEcoAdviser

日東工業「サファLink-ONE」



国土交通大臣賞は、日東工業の産業用太陽光自家消費蓄電池システム「サファLink-ONE」が受賞。蓄電池本体に電気自動車の日産リーフの使用済みバッテリーを再生処理したリユースバッテリーとして設置・運用できる使いやすさを実現している。発電した電力は自家消費ができ、日中の余剰電力を蓄電して夜間に使うといった使い方もできるものとなっている。

経済産業大臣賞は、関電工の測定記録支援システム「BLUe」。Bluetoothの無線通信で繋がった測定器から送信される測定値をCAD図面、PDF図面やExcel帳票へAIレクタに入力することができるソフトウェア。どんな図面や帳票でもそのまま使え、測定作業終了後のPCでの測定データの転記や報告書作成業務を効率化できるものとなっている。

環境大臣賞は、河村電器産業の「スマートenコントロールシステム」。EV

国土交通大臣賞は、日東工業の産業用太陽光自家消費蓄電池システム「サファLink-ONE」が受賞。蓄電池本体に電気自動車の日産リーフの使用済みバッテリーを再生処理したリユースバッテリーとして設置・運用できる使いやすさを実現している。発電した電力は自家消費ができ、日中の余剰電力を蓄電して夜間に使うといった使い方もできるものとなっている。

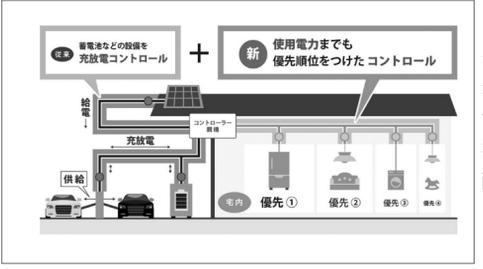
6月1日から3日まで東京ビッグサイトで行われ、現在オンラインで開催中の「JECA FAIR 2022(第70回電設工業展)」主催の日本電設工業協会では、毎回恒例となっている「製品コンクール」が行われ、その受賞製品が決定した。今回の製品コンクールには50社がエントリーし、13社の製品が選ばれた。

### 国土交通大臣賞に日東工業 環境大臣賞は河村電器産業



関電工の測定記録支援システム

の普及拡大にもなってエネルギー使用量は大きくなることが予想されるなか、



河村電器産業のスマートenコントロールシステム図

JAXAの独立分散制御技術と同社のエネルギー制御ロジックの技術を融合し、

EV充電器と太陽光発電設備、蓄電池、さらには住宅設備を効率的にコントロールし、エネルギーを効率的に配分することができ、

中小企業庁長官賞は、共立電気計器のEV普通充電設備向けマルチファンクションテスタ「KEW 6514BT」。

電気設備への各種試験ができるのに加え、専用タブレットを使うことで電気自動車(EV)用の普通充電設備(EVS)に対応する各種試験や動作確認が可能なお製品となっている。



共立電気計器「KEW 6514BT」

### 電設工業協会奨励賞 三菱電機、日立産機システムなど5社5製品

労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所所長賞は、長谷川電機工業のHA型アースフック「キュービクル万能タイプ」。北陸電気保安協会との共同開発製品で、目視の強力なトリップ力をそのままに、滑車の原理を利用してロープを引くだけで楽に操作でき、延長棒で高所・狭所へアクセスも簡単にできるものとなっている。

日本電設工業協会会長賞は、東芝インフラシステムズのTEV「過渡接地電圧センサを用いたスイッチギヤ絶縁診断サービス」。設備を停止することなく、運用状態のまま短時間で特高スイッチギヤの絶縁故障の予兆をTEVセンサで診断でき、想定部位から欠陥種(放電発生部)を推定できる。



日立産機システムの環境調和型変圧器「Superアモルファス」

東京都立産業技術研究センター理事長賞は、三和電気計器の接近センサ「SN301」。一般的なヘルメットに装着するだけで、頭からつま先まであらゆる方向からの高圧交流電源への接近を検知し、ブザー音とLEDで知らせることができる。

三菱電機の省エネ分析・診断支援アプリケーション「EcoAdviser」は、AI技術「Maisart」を活用し、エネルギーロス抽出やエネルギー要因診断によって省エネ活動のPDC Aをリアルタイムで行うことができる。生産現場において蓄積した収集データの見える化だけでなく、AIによるエネルギーロス抽出や要因診断で効果的な省エネ活動を実現できる。

土井製作所の開口部浸水対策工法は、建物のビッド・タクトなどの壁貫通の開口部を防水化し、電気室などの重要設備の浸水被害を防ぐ工法で、既存設備を稼働させたまま浸水対策が可能。



北陸電気工事のまるごとARメジャーアプリは、床や壁、天井を透過させる機能付き、仕上げ後の写真に施工状況を重ね合わせた写真が記録できる。またメジャー自動表示機能で、メジャーを持った一人ですぐに入力できる写真が撮影できる。

マルチ計測器のツイストクランプメーター「TCM-45E」は、ひねって計測することができ、これまで測定しづかった場所でも使用可能となっている。

戸上電機製作所の微地絡・地絡原因特定システム

三菱電機「EcoAdviser」イメージ

消防庁長官賞は該当製品がなかった。表彰式は、7月7日に東京都千代田区の本テックランドアーク半蔵門で行われる。

産業用ロボット・自動化システムの専門展

# ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022

ロボットテクノロジージャパン

期間 2022年6月30日(木) ▶ 7月2日(土)

開催場所 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

開催時間 10:00~17:00 入場料 大人1人 1000円

【出品製品】垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV/AMR、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など

※サービスロボットや介護ロボットなどは対象外

【主催】ニュースダイジェスト社 【共催】愛知県機械工具商業協同組合

# NICE TO MEET FUTURE

ロボット!!

2022年 中部最大級! 202社 出展!

## 中部地方最大級 最先端の自動化技術が集結!!

今すぐ事前来場登録!!

入場は完全登録制です。入場証を印刷して会場にご持参ください。

https://robot-technology.jp/2022

ロボットテクノロジージャパン

製造業から物流、食品、包装まで、自動化の未来が見つかる

工場新設・増設情報 6月第4週

【国内】

■協立電機、グループ会社を統合し新会社設立。静岡県清水区に制御盤の工場建設

協立電機は、グループ会社の協和電工とサンシン産業を2022年7月1日に統合し、協和サンシンエンジニアリングを設立し、併せて新工場（静岡県清水区大内97-1）を建設する。

新工場は、制御盤製造のための作業スペースの増加と工場集約による効率化を目的とし、敷地面積3791平方メートルに鉄骨2階建ての建物面積940平方メートル、延床面積1751平方メートルを建設する。投資金額は7億6000万円。

■ユタカフーズ、愛知県知多郡武豊町に新工場。2025年5月稼働開始、投資金額99億円

調味料製造・食品OEMのユタカフーズは、愛知県知多郡武豊町に新工場となる「チルド新工場」（愛知県知多郡武豊町字川脇34-1）を建設する。

新工場は、鉄骨3階建ての建物面積4170平方メートル、延床面積1万3200平方メートルとなり、2024年1月に着工し、2025年5月の稼働開始を予定。

投資予定額は99億円。

■鈴与エコプロダクツ、静岡県袋井市でプラスチックリユース・リサイクル工場稼働開始

鈴与グループでポリ容器の洗浄リユース事業を行う鈴与エコプロダクツは、静岡県袋井市の袋井事業所第2工場（袋井市見取1924-3）が完成し、6月1日から稼働開始した。



新工場は、袋井事業所の隣接地4万9608平方メートルに建物面積3457平方メートル。業務用ポリ容器と通い箱の洗浄リユースのほか、廃水処理、リユース不適合容器のリサイクル、ラベル装着新缶容器の販売、破碎プラ資源の販売処理を行い、処理可能量は1日あたり2600本。

第1工場の年間処理本数は180万本に達しており、2030年には第1と第2工場を合わせて年間300万本の処理を目指し、設備投資を行っていく。

■三井E&Sマシナリー、水素ビジネス開発用に岡山県・玉野工場に水素ガス供給設備

三井E&Sマシナリーは、水素関連ビジネスの立ち上げに向けて、岡山県玉野市の玉野機械工場（岡山県玉野市玉3-1-1）に、1000N ml/hの大容量の水素ガスの供給を可能とする水素ガス供給設備（液化水素タンクや水素ガス圧縮機など）を建設する。

2021年度にダイハツディーゼルと共に採択された国土交通省補助事業「海事産業集約連携促進技術開発費補助金」に関連し、同設備を使って大型船用エンジン（出力7MW）へ大容量の水素を供給しての水素燃焼の技術開発を行う。また燃料供給と大型機関の

カップリング運転技術を確認し、水素燃焼推進プラントの技術開発を進める。また、天然ガス焚きガスタービンSB5N（発電出力1MW）の、水素混焼・専焼技術開発も行う。

■東京計器、小型SAR衛星の組み立て棟を栃木県那須工場内に建設へ

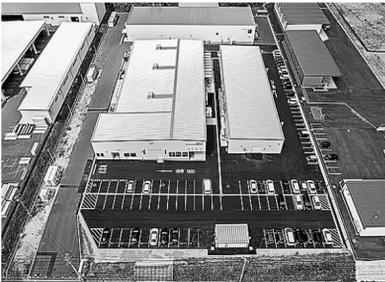
東京計器は、人工衛星の開発・運用と、それにともなうソリューションを提供するSynspecと、小型SAR衛星の量産化に向けたパートナーシップを締結した。



Synspecは2026年前後までに30機の衛星群を構築する計画があり、東京計器がその生産を担い、栃木県の那須工場内にクリーンルームを備えた衛星組み立て棟を建設する。

■日本ファインセラミックス、宮城県東2工場で半導体用セラミックス増産の設備投資

日揮グループの機能材製造事業会社の日本ファインセラミックスは、宮城県富谷市の富谷事業所と仙台市の本社事業所で、半導体製造装置用セラミックス製品の高精度化とパワー半導体用窒化ケイ素基板の増産に向けた設備投資を実施する。



半導体需要増による半導体製造装置市場の拡大によってミクロン単位の平面度を求められる半導体製造装置向け高精度部品の引き合いが増加しており、そこに向けた精密加工装置や高精度測定器の導入に加え、車載用パワー半導体の絶縁放熱基板として自動車メーカーや回路基板メーカーから採用が進む窒化ケイ素セラミックス製絶縁放熱基板の増産に向けた設備投資を行う。

総投資金額は約20億円で、今回の設備投資によって半導体製造装置用セラミックスや窒化ケイ素セラミックス製絶縁放熱基板などの製造能力を現行の1.5倍に拡大する。

■ユニテッド・スーパーマーケットHDとブランドテックス、茨城県土浦市に植物工場稼働

マルエツやマックスバリュ関東など首都圏でスー

パーマーケットを展開するユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングスと、植物工場の設立・運営を行うブランドテックスは、茨城県土浦市で共同開発してきた植物工場「THE TERRABASE（ザ・テラベース）土浦」でレタス生産を開始し、店舗販売を開始した。

工場内のレタスは、個別密閉された栽培棚のなかで、AIなどで導き出された栽培条件に基づいて、レタスの成育に最適な光の量、空気、栄養素を制御されて育てられる。完全密閉と機械化された水耕栽培により衛生管理が徹底され、虫の混入や菌の繁殖を防止。また露地でのレタス栽培時よりも12%以上も少ない水量で栽培されている。

■アサヒロジスティクス、福島県郡山市に共同配送センター建設

食品物流のアサヒロジスティクスは、福島県郡山市に共同配送センターを建設する。

新共同配送センターは、敷地面積1万3220平方メートル、鉄骨平家建ての延床面積3400平方メートル。操業開始は2023年10月を予定している。

■明治機械、栃木県の足利事業所内に新事務所棟 明治機械は、栃木県足利市の足利事業所（鹿島町1115）内に、新事務所棟を建設する。建物面積は1326平方メートルで、投資金額は5億2000万円。物件引き渡しは2023年4月下旬を予定している。

■三菱ガス化学、岡山県倉敷市の水島工場へ設備投資。投資金額101億円

三菱ガス化学は、芳香族アルデヒドを製造する岡山県倉敷市の水島工場（倉敷市水島中通3丁目1-14,15,17）に、約101億円を投じて設備投資を行う。着工は2022年8月、生産開始は2023年11月を予定している。

【海外】

■日揮、インドネシア現地法人が天然ガス処理プラント建設を受注

日揮のインドネシア現地法人であるJGCインドネシア社は、独立系石油・天然ガス生産事業者ジェッドストーンエナジー社のインドネシア法人ジェッドストーンエナジーレマング社から、インドネシア・南スマトラ州ジャンピの天然ガス処理プラント建設プロジェクトを受注した。

プロジェクトは、ジェッドストーンエナジー社が保有するアカタラガス田から生産される天然ガスを精製する天然ガス処理プラント（処理能力25MMScf）を建設し、精製されたセールスガスをガステーションに輸送するガスパイプライン（約17キロメートル）を建設するもの。セールスガスはインドネシア国内で主に火力発電所の燃料として使用される予定。

完工は2024年前半を予定している。

■ダブル・スコープ、ハンガリーにリチウムイオン二次電池用セパレータの新工場

リチウムイオン二次電池用セパレータ（分離膜）の開発、製造と販売のダブル・スコープは、ハンガリー北東部のニージハーザ市にセパレータの新工場を建設する。

新工場建設用敷地としてニージハーザ市南部工業団地の約82万平方メートルを取得し、2024年下半年から順次ヨーロッパ地域の顧客に製品供給を開始。2025年までに年間12億平方メートルを生産可能な成膜ラインとコーティングラインを設置する計画で、同年には韓国工場・ハンガリー工場合わせて年間23億平方メートル

投資金額のうち5億円は、岡山県の大型投資・拠点化促進補助金を活用する。

■サーキュラーペット、岡山県津山市の津山工場に設備投資。投資金額102億円

リサイクルPET樹脂の生産販売、廃プラスチックの再生販売を行うサーキュラーペットは、岡山県津山市の津山工場（津山市くめ字団地50番77久米産業団地内）に、約102億円を投じて設備投資を行う。着工は2022年7月、生産開始は2024年3月を予定している。

投資金額のうち10億円は、岡山県の大型投資・拠点化促進補助金を活用する。

■アイエイエム電子、長野県駒ヶ根市に新工場。投資金額17億8600万円

電子部品メーカーのアイエイエム電子は、長野県駒ヶ根市に新工場（駒ヶ根市赤穂9847）を建設する。投資金額は17億8600万円。長野県産業投資応援助成金を活用する。

■樫山工業、長野県佐久市に新工場。投資金額30億円

ドライ真空ポンプメーカーの樫山工業は、長野県佐久市に本社第2工場C棟・D棟（佐久市横和1-1）を増築する。投資金額は30億円。長野県産業投資応援助成金を活用する。

■ピーエーイー、長野県下伊那郡の豊丘工場の増設と設備導入

自動車、航空機向けの精密切削部品加工、プラスチック成型部品加工のピーエーイーは、長野県豊丘工場（下伊那郡豊丘村3370-6）における次世代自動車向け高性能プラスチック製品の製造に向けた工場増設と射出成型機6台を設置する。投資金額は7億5000万円。長野県産業投資応援助成金を活用する。

生産能力となる予定。投資金額は約7億2000万円（約990億円）。

■ホンダ、中国・広州にEV新工場。2024年稼働開始

ホンダは、中国南部の広東省広州市で、EV専用工場の建設を開始した。2024年稼働開始の計画で、投資金額は約700億円（34億9000万円）。敷地面積は40万平方メートル。生産能力は年間12万台となっている。



■フェローテック、マレーシア・半島北部に新工場。投資金額161億円

フェローテックホールディングスは、マレーシアの製造子会社であるフェローテックマニュファクチャリングマレーシア（FTMM）の新工場を、マレーシア・半島北部のケダ州クリム・ハイテクパーク内に建設する。

新工場は、延床面積8万平方メートルで、操業開始予定は2023年9月。投資金額は161億円で、内訳は工場建屋に約81億円、機械設備に約81億円。



世界の製造業が採用  
IPC 品質標準規格



グローバルに通用する製品品質を備え、世界各地での躍の第一歩に――



ジャパンユニックスではIPCの標準規格書・情報・サービスを提供しています

IPC 標準規格書 無料版 まずはwebからダウンロード

『IPC』『規格』『無料』で検索

はんだ付工程を  
見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』ではんだ付のIoT化へ  
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して  
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現  
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により  
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



ジャパンユニックス製品 導入事例集 webにて公開

『はんだ付 導入事例』で検索